

作文・ディベート教室のご案内



一緒に
やろう!

楽しみながら、子どもが変わる教室

✓ 日本で唯一!? 本質的な国語力を育てる

作文・ディベート教室は、ディベートの指導を筆頭に、学校、塾、他の国語教室が真似できない独自のレッスンを実施しています。これまでの「国語」の枠に収まらない、本質的な思考力やコミュニケーション力を育てたいと願う全ての方にお勧めします。

身に付く力その①: 思考技能	身に付く力その②: 表現技能	身に付く力その③: 社会技能
物事を自分の頭で論理的、批判的に考えられるようになることで、「自分の意見」を持てる子になります。	人前でも自信を持って堂々と発表したり、順序立てて分かりやすく説明したりするのが上手な子になります。	誰とでも仲良く対話ができ、協力し合い、話し合いて積極的にリーダーシップを取れる子になります。

✓ 「ディベート」とは?

あるテーマについて賛成側・反対側という2つの立場に分かれ、討論をします。ディベートでは、意見を論理的に組み立てる、相手の意見を聞き取り要約し整理する、違う視点から考える、順序立てて説明する、建設的な反対意見を言ってみる・・・など、思考やコミュニケーションにおける多様な技能が育ちます。



✓ 生徒・保護者の声



僕は元々、人前で発表したり、作文を書いたりするのは苦手でした。でもディベートを続けたことで、この2つは苦手から得意になり、そして大好きになりました。
(K君・6年生)



ディベートを習って良かったことは、物事を色々な角度から考えることが得意になったことです。考え方が身に付いたことで、自分の意見を持てるようになりました。
(Aさん・6年生)

入会当初、文字を書くことさえおどろいだった息子が嬉々として長文を書くようになるとはまったく想像できませんでした。
(4年生のお母様)

✓ 講師プロフィール



関口 かおり

幼少時の海外体験を通して、自分の意見を発信する楽しさに目覚める。大学で英語ディベートに熱中(小松の先輩)。現在は Web メディアで記事編集、文章指導にも従事。保育士の資格所有。私生活では一男一女の母。



小松 洋平

大学時代のディベートを通して自身が飛躍的に成長した経験をもとに、2013年に「こまつディベート教室」を立ち上げる。芝浦工業大学講師や中高生～社会人ディベート大会の審査員を長年務める。一男二女の父。